

## 抄 録

### 沖合域におけるヒラメ仔魚の採集事例（短報）

富山 毅・水野拓治\*・上野山大輔\*\*・榎本昌宏\*\*\*・早乙女忠弘

Offshore Collection of Larval Japanese Flounder *Paralichthys olivaceus*:  
Implication for Transport-induced Mortality (Short Paper)

Takeshi TOMIYAMA, Takuji MIZUNO\*, Daisuke UENOYAMA\*\*,  
Masahiro ENOMOTO\*\*\* and Tadahiro SOHTOME

Fisheries Science 74 (2), 449–451 (2008)

2003 年 5 月上旬および 2005 年 5 月上旬に福島県沿岸から 260km 以上、水深 3,000m 以上の沖合の表層でヒラメ仔魚が 2 個体採集された。これらの仔魚の推定ふ化時期は、採集した場所の緯度におけるヒラメの産卵期よりも早い 4 月であること、2003 年と 2005 年の両方ともに仔魚を採集した地点で黒潮暖流の波及がみられたことから、採集した仔魚の起源は南の水域であることが示唆された。このように極度に沿岸から離れた場所に輸送された仔魚は成育場にたどり着くことは考えにくく、減耗過程にあったものと推察された。

---

\* 福島県水産課

\*\* 福島県水産事務所

\*\*\* 福島県内水面水産試験場